

お父さんとがんばること

長沢小・5 荒川 陽菜乃

「きん急事態宣言を発令する」

と三年前にテレビで流れた。ちょうどその時私のお父さんは中国に行つて一か月もたつてないくらいでした。きん急事態宣言が発令されてから三か月後お父さんから

「中国にはきちゃいけなくなつた」

と電話で言われた。私と妹は

「どうしてそうなつちやつたの」

とおもわず声をあわせていつてしまつた。お父さんは

「会社の社長が家族は日本にいたほうがいい」

と言つたらしい。そうしたらお父さんが

「また会えるから。元気に過ごすんだぞ。バイバイ」

と言つて電話がきれました。私は、中国に行くのが楽しみだつたから、行けなくなつてしまつて悲しかったです。長沢小学校のみんなといっしょにいれると思うと、うれしい気がして、ふくぎつな気持ちになりました。これは神様のおつげかなと思ひました。

お父さんとおわかれして一年がたちました。お父さんがいない生活は少しなれたけど、やっぱりさみしいです。でもお父さんと毎日電話をするようになりました。学校でなにをしたかとか、色々話して、いつも十分以上話しています。もう

マスクをしたり、手をしよつちゅうあらつたり、消どくをしたりするのがもうあたりまえになっていました。

お父さんとおわかれして二年がたちました。お父さんが夏休みに一か月だけ帰つてきました。その時は、プールに行つたり、遊園地に行つたりしました。そうしたらあつというまに一か月が過ぎてしまいました。また来年も帰つてくれるかな。中国に行く時に駅までおみおくりに行きました。

お父さんとおわかれして三年がたちました。もう私は五年生になりました。今年は一週間と五日しか帰つてこれませんでした。でも今年は、遊園地、プール、水族館、ペットの犬とおでかけ、イオン、コストコ、色んなところに行けました。次は、一か月くらい帰つてくれるかな。楽しみにしています。だけど、あと一年半までば、もう中国に行かなくていいようになります。でも私たちは三年もまっていたんだから、一年半なんてもうすぐだよ。まってるからねお父さん。

私が中国に行けなかつたのは、コロナウイルスのせいだけど、私には神様が日本にいたほうがいいと言つてくれたのだと思ひます。そのおかげで私は、いまの五年一組のみんなとも、三年生から五年生のたんにんの先生とも、色々なことをしました。豊橋筆づくりや、おたのしみ会や、今年の九月にある野外活動の準備や、ほかにも色々あります。コロナウイルスの関係で、できなくなつたことも色々あります。みそ工場や自転車教室、色々なことができなかつたけど、いままで

できたことがすつごく大切な思い出になりました。私は今、日本にいてこうかいはしていません。すごく優しく、笑顔にしてくれるおもしろい友達と先生がいるから、毎日楽しくすごせています。

私のお父さんは、中国で車の品質をより良くする仕事をしています。車は大きい乗り物だけれど、その車を作っている一つ一つの部品は、多くの人の手がかけられた、せん細なものだと聞きました。お父さんは、その部品が車の中で動くことで、どんな変化がおこるのか、実さいに動かしてみても音の変化に気づくそうです。この仕事は、毎日車と向き合っていないと、できない仕事だと私は思いました。私も家族がはなれてくらすことはさみしいけれど、お母さんと妹がいつもいっしょにいます。お父さんは、仕事の仲間が、良い人がいると言っていますが、中国の家では一人です。お父さんは、さみしいと言いますが、本当は心の中でさみしいと思っています。お父さんのことが少し心配ですが、とてもそんけいしています。そして、私はそんなお父さんが大好きです。これからも体に気をつけて、すごしてください。

そして、日本ですごせる時間を、大切にしたいと思えます。例えば、勉強をがんばりたいです。勉強がむずかしくなってきたので、復習をして、予習もしたいです。私が力をのばしたい教科は、国語、算数、社会、総合です。国語では、もつ

と発言をして、算数では速く正しく問題をとけるようにしたい、社会では、もつと上手にポスターやパンフレットをかけること、総合では、野外活動の準備をみんなで協力してどんどん進めることです。これらのことを意識して、勉強をがんばっていききたいです。

私は目標に向けて、お父さんとがんばっていききたいです。